

多宝塔/1816年建立











上重、四手先組物、扇垂木



下重、二手先組物、軒は二軒繁垂木/正面には「上宮閣」の額を掲げる



石積基壇上に建ち、組高欄を付した縁をめぐらす。中央間棧唐戸、脇間連子窓、円柱には粽がつく







相輪は層塔風のもので、上から、火焰がつく宝珠、龍車、水煙、九輪、覆鉢、露盤と続く





右手は薬師堂



京都の奥谷組が設計施工し平成6年に落慶したという



藥師堂

































前方が奥之院(御影堂)







奥之院(御影堂)











みずかけ地藏尊























鐘樓







正面は庫裡











水屋





さまざまな供養塔



この墓地にはこの地に生まれた偉大なる武道家—合気道(あいきどう)の創始者・植芝盛平(うえしばもりへい)や同じくこの地に生まれた偉大なる智者—博物学者・南方熊楠(みなかたくまぐす)が眠っているという









こちらには宝篋印塔や五輪塔がある











唯一の由緒書きだが読みづらい(残念)



心霊写真のようになってしまった